

複数の装置をセットにした
【セット価格】で記載された
搭載証明書で申請を行う方法

▶ セット価格で複数の装置を搭載している場合があります 入力方法に充分注意してください

ASV装置は1つ1つに単価がある場合と、複数の装置をセットにして1つの価格を設けている場合があります。

複数の装置をセットでの価格設定の場合の申請方法は、**補助金額が1番高い装置にセット価格を入力し、セットに含まれる他の装置には「0」円を入力して申請して頂きます。**

次に例を挙げますので、お手元の搭載証明書と見比べ確認した上で申請入力に進んでください。

▶ タクシー車両のセット価格入力例

例1) 「セット名」横に「価格」その下に「装置名」が列挙されていて、次の段の「装置名」横に「価格」がある

証明書内容

「ASV装置セット名」 価格 63,000円(税抜)

- ① 【車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置】
- ② 【ドライバー異常時対応システム】
- ③ 【先進ライト】
- ④ 【道路標識注意喚起装置】
- ⑤ 事故時通報システムの価格 43,000円(税抜)

例2) 例1に加え【車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置】に、渋滞時支援のオプション装置が付いていた場合は、①と⑥の合計を①に入力

「ASV装置セット名」 価格 63,000円(税抜)

- ① 【車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置】
- ② 【ドライバー異常時対応システム】
- ③ 【先進ライト】
- ④ 【道路標識注意喚起装置】
- ⑤ 事故時通報システムの価格 43,000円(税抜)

【車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置】

- ⑥ (渋滞時支援)の価格 50,000円(税抜)

渋滞時支援
搭載有無

有

／ 無

※該当に○

〈 経費使用明細入力画面 〉

補助対象事業カテゴリ選択
タクシー

導入車両台数 ※一グループの合計台数
1 台

搭載した装置	単価(税抜き)
① 車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置の導入	63,000 円
② ドライバー異常時対応システムの導入	0 円
③ 先進ライトの導入	0 円
④ 道路標識注意喚起装置	0 円
⑤ 事故自動通報システムの導入	43,000 円

搭載装置入力欄を増やす

補助対象事業カテゴリ選択
タクシー

導入車両台数 ※一グループの合計台数
1 台

搭載した装置	単価(税抜き)
① 車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置の導入	113,000 円
② ドライバー異常時対応システムの導入	0 円
③ 先進ライトの導入	0 円
④ 道路標識注意喚起装置	0 円
⑤ 事故自動通報システムの導入	43,000 円

搭載装置入力欄を増やす

▶ 2つの装置をセットにしたセット価格について

▶ トラック(第五輪荷重を含む)の場合

異なる装置のセット価格を設けているのは次の2社有ります。

日野自動車株式会社様の車両には[側方衝突警報装置]と[後側方接近車両注意喚起装置]がセットで搭載されています。

車両総重量によって補助対象装置が異なりますので入力にご注意ください。

車両総重量 [3.5t以下] の車両は、両装置が補助対象外です。

車両総重量 [3.5t超8t以下] の車両は、搭載証明書に片方または両方の装置名が記載されていた場合[後側方接近車両注意喚起装置]にセット価格を入力し [側方衝突警報装置]に「0」円を入力してください。

車両総重量 [8t超] の車両は[側方衝突警報装置]が補助対象外ですので、搭載証明書に[後側方接近車両注意喚起装置]の記載が有る場合のみ当該装置を申請してください。

三菱ふそうトラック・バス株式会社様の車両には[車間距離制御装置 + 車線維持支援制御装置]と[ドライバー異常時対応システム]がセットで搭載されています。

装置の補助金額は同一ですので、申請システム入力では2つの装置を選択し片方の装置にセット価格を入力し、もう片方に「0」円を入力してください。